

全労済 から「こくみん共済 coop」へ

2019年6月、
愛称として「こくみん共済 coop」を定めます。

正式名称である「全国労働者共済生活協同組合連合会」、略称である「全労済」は変えず、新しい姿を表す愛称を「こくみん共済 coop」としました。

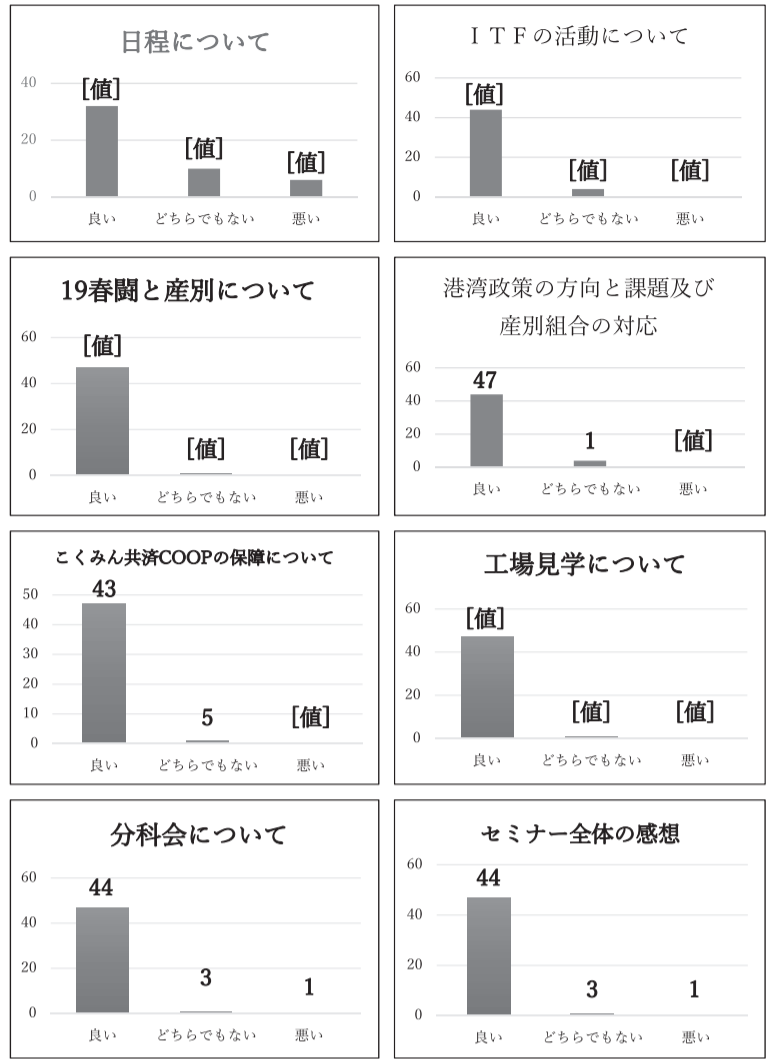
これからも、労働者自主福祉を核とし、さらにその取り組みを広げていくため「こくみん みんなのために、
共済」というたすけあいの仕組みを提供する、
協同組合 (coop) である。」ことを表しました。

私たちは「共済」を通じて人と人との「たすけあいの輪」をむすび、「安心のネットワーク」をひろげていきます。

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済
全国労働者共済生活協同組合連合会 **coop**

【公式キャラクター ビットくんファミリー】

これまで皆さんに親しまれてきたビットくんが、ファミリーで、こくみん共済 coopの一人として、たすけあいの輪をむすんでいきます。ビットくんの名前の由来は、「びつたり、フィット」。ビットくんはあんしんのタネを運ぶ妖精です。



参加者の感想

第一六回港湾労働セミナーに参加の皆さま三日間に亘り大変お疲れ様でした。皆さまの感想文を集計し、グラフにまとめてみました。皆さまから寄せられた感想を参考に、今後のセミナーの企画・運営に繋げていきたいと考えております。



藤木インスペクタ 日記 特別編

三溪園の看板を見かけたの

本牧から磯子方面に住宅街の中を歩いていくときに三溪園の看板を見かけたの

中に入ってビックリ！まず入り口から入り、少し左を見ようと木が生い茂る小高い丘の上に三重の塔(旧燈明寺きゅうとうみょうじ)三重塔(一四五七年建築)から瓢箪門水鉢(「ひょうたんもんちようすばち」豊臣秀吉が愛用していたと言われる手を洗う場所に使用されていた)、旧天瑞寿塔覆堂(「ききゅうてんすいじゅうとおおいどう」長寿を祝って生存中に立てる墓を覆った建物、豊臣秀吉が母の為に建てた。一五九一年建築などの古い建物が一七棟ありそのうち一〇棟が重要文化財に指定されているそうです。庭園好きではないのですが、浜離宮、偕楽園と後楽園に行ったことがあり、すごくいい思い出です。その時、ガラスが「カー！(ころー)カー！(おっさん!)」と言われたような気がしてきびすを返す瞬間、私の目に飛び込んできた表札には「原」という名前が、そう、そこは三溪園に隣接されている原さん直系(あと三溪園のボランティアの人)に聞きまし

たの人の家だったんです。

その帰りに疲れた足取りで歩いていくと、ある一軒の住宅の前にとり着いたのです。その時、ガラスが「カー！(ころー)カー！(おっさん!)」と言われたような気がしてきびすを返す瞬間、私の目に飛び込んできた表札には「原」という名前が、そこは三溪園に隣接されている原さん直系(あと三溪園のボランティアの人)に聞きまし

教宣委員の藤木です。リレー随筆の順番が回ってきたので、とりあえずその方向へ行くと入り口があり、中に入るには七〇〇円のお金がかかること「高い！」と思って、その日は断念しました。しかし、翌週に一度は見ておいても良いのではと思い直し、大枚七〇〇円を支払って入場したので

あり、すごいと思いました。一週間後に三溪園の近くある八聖殿(郷土資料館)に行けばわかりそうなので行ってみました。すると、その当時の人たちは、黒船に乗っていた人たちがなにをやっているのか興味津々でかわら版に落書き(測量をやっていた説が有望)をしていてというところが載ったそうです。その絵を基に場所を割り出したところ本牧市民プール(現在は営業していません)あたりの崖だそう。現在崖にはコンクリート覆われていてなにも残っていません。

そして、富太郎さんは、ビジネスだけではなく芸術にも長けていて交友関係でも、夏目漱石、横山大観や岡倉天心などの歴史的な人物の名前がいろいろ出てきます。しかし、自分が知らないで伏せておきます)一通り見て感動した後に入り口で見たパンフレットにペリーの落書きと書いてあったのを思い出して崖側の南口に行ってみました

